

## 身近な動物が思わぬ火災事故を引き起こします！！

～ペットだけでなく、ネズミやゴキブリにも気を付けて～

近年、室内飼育しているペット（犬・猫・うさぎ・鳥など）や小動物（ネズミなど）、害虫（ゴキブリ・クモなど）が引き起こす火災が多く発生しておりますので注意をお願いします。

### ●ペットによる事故事例・・・

- ・飼い主の不在時に犬や猫がコンロのスイッチを入れ出火した。
- ・猫が電化製品に尿を掛け出火した。
- ・犬が電源コードやバッテリー（リチウムイオン）を噛み出火した。



### ペットによる火災を防ぐためのポイント！

#### ① 出掛ける際はガスの元栓を閉め、電気製品はプラグを抜く

ペットがガスコンロやIH調理器に寄りかかったり、上に登るなどしてスイッチを入れてしまうことがあります。ペットを家に残して出掛ける際は、ガスの元栓は閉め電気製品は電源プラグを抜いてください。

また、ガスコンロやIH調理器の周囲に可燃物を放置しないでください。

#### ② 危険性のあるものは保管場所に注意する

ペットは小さなものを口に入れ、噛みついてしまうことがあります。スマホやモバイルバッテリーなど外力が加えられることでショートし、破裂・発火に至る危険がありますのでペットが触れない場所に保管しましょう。



#### ③ 目を離す際はケージにいれる

飼い主の目が届かない際に発生する火災が後を絶ちません。出掛ける際は室内で放し飼いせずケージに入れておきましょう。

#### ④ 社告・リコール製品かどうか確認する

ペットによる火災事例が報告されているものの中には、社告により無償点検などがされている製品もあります。お使いの製品が社告・リコール製品かどうか確認してください。万が一、対象製品の場合は、使用を中止して製造業者などに問い合わせてください。

●小動物や害虫による火災事例・・・

- ・ネズミが電源コードをかじり出火した。
- ・鳥が排気部に巣を作り排気不良となり異常燃焼した。
- ・エアコン内にゴキブリが侵入し出火した。

**小動物や害虫による火災を防ぐためのポイント！**

**① 屋外の小動物や害虫の侵入する可能性がある製品は定期的に点検する**

屋外に機品の一部が設置されているガスふろがまやエアコンなどは、製品の内部に小動物や害虫が侵入する可能性があります。製品の周囲にゴミや段ボールを置いたりせず、こまめに掃除するなど小動物や害虫を寄せ付けないように注意してください。

鳥やクモは排気口などに巣を作って閉塞させてしまう可能性があります。排気口などに詰まりなどの異常がないか定期的に点検しましょう。

**② 屋内で見かけたら駆除する**

屋内の製品でもキッチンの周囲は餌となるものが多いため、小動物や害虫が侵入することがあります。キッチンの周囲はこまめに掃除をし、小動物や害虫を見つけたら速やかに駆除してください。

**③ 予兆に注意する**

小動物や害虫が製品内部に侵入すると、不意に電源が入る、スイッチが効かない、焦げ臭いにおいがするなどの異常が予兆としてみられることがあります。これらの事象がみられたら、直ちに使用を中止し販売店や製造業者になどに点検・修理をお願いしてください。

平成29年度防火標語

火の用心      ことばを形に      習慣に